

復興まちづくりの取組について

1 事業目的

首都直下地震などにより地域が被災した場合に、復興の方向性を迅速かつ円滑に整理し、必要な検討や調整を進められるよう、平時から都市復興の内容や進め方を整理しておくことが重要である。

本事業は、この観点に基づき、事前復興まちづくり方針を策定するとともに、地域住民等が主体となる模擬訓練や区民参加の取組を通じて、その内容の共有と実効性の向上を図ることを目的とする。

2 これまでの取組

令和 5 年度

- ・都市復興シンポジウム 参加者：93人
- ・谷中地区都市復興模擬訓練（全4回） 参加者：29人

令和 6 年度

- ・根岸地区都市復興模擬訓練（全4回） 参加者：34人

令和 7 年度

- ・まちづくりカレッジ【復興編】（全5回） 参加者：58人

3 令和 8 年度の取組

(1) (仮称) 台東区事前復興まちづくり方針策定

ア 策定の意義と効果

復興まちづくりに早期に着手するためには、平時から、復興まちづくりに関する基本的な考え方や進め方を整理し、その内容について区民等に理解を深めてもらうことが重要である。

この取組により、発災後の復興まちづくりへの早期着手、検討期間の短縮化、人口流出の抑制につなげていく。

イ 方針内容（案）

- 事前都市復興の考え方について
背景、目的と効果及び位置づけ 等
- 事前都市復興に関する基本認識
近年の自然災害の状況及び国・都・他自治体の動き 等
- 台東区の災害リスク
地震・大雨による被害想定 等
- 事前都市復興基本方針
都市復興の理念・目標・方針及び市街地復興の対象区域と地区区分設定の考え方 等
- 都市復興のプロセス
都市復興の体制・流れ 等
- 平時の備え
区民への意識啓発、職員の復興訓練、復興まちづくりに向けた取組の推進、方針や関連情報等の更新及び関係機関との連携 等

ウ 策定の進め方

方針の策定に当たっては、「東京都台東区震災後の復興における市街地の計画的な整備に関する条例」、地域防災計画その他既存の制度や計画、本区の災害リスク、国・都・他自治体の動向等を踏まえ、復興まちづくりに関する基本的な考え方や進め方を整理する。

あわせて、都市復興模擬訓練やまちづくりカレッジで得られた知見を踏まえ、学識経験者からの助言を得ながら検討を進める。

また、東京都その他関係機関と情報共有・意見交換を行うとともに、中間のまとめ案を公表した上で、幅広く意見を求めていく。

（２）地区別都市復興模擬訓練

対象地区の住民や事業者等が、模擬的に「復興まちづくり計画」の検討を行うことにより、都市復興への理解を深めるとともに、復興まちづくり方針で整理する考え方や進め方を地区の実情に即して確認し、発災時の円滑な復興につなげる。

また、訓練を通じて得られた知見は、復興まちづくり方針の内容の確認や充実にも活用していく。

なお、今年度の対象地区は、令和４年に東京都が公表した地域危険度や現況の都市基盤整備状況などから総合的に判断し、選定する。

4 今後の予定

令和8年9月～12月

地区別都市復興模擬訓練（全4回）実施

令和8年第4回定例会

産業建設委員会に（仮称）台東区事前復興まちづくり方針中間のまとめ案報告

令和8年12月～令和9年1月

パブリックコメント実施

令和9年第1回定例会

産業建設委員会に（仮称）台東区事前復興まちづくり方針最終案報告

令和9年3月

（仮称）台東区事前復興まちづくり方針策定